町長行政報告

湯沢町長 **上村清隆**

本日より平成十九年三月定例議会を開催いたします。

（以下要旨抜粋）

一月に、中里スノーモビルランドで、全日本スノーモビル選手権大会が開催されました。地元皆様の温かい接待に、感謝と賞賛の声が寄せられました。湯沢町の新しいイベントとして今後に期待しています。また二月、三月と連続して、湯沢町をテーマとする曲が、香田晋さん、坂本冬美さんにより発売されました。町の応援歌として、力強く声援したいと考えています。

そして災害に強いまちづくりのため、万一の災害時における各種協定を締結しました。前橋市とは相互応援協定を、町内業者とは物資供給や、応援対策協定を締結しました。災害時における町民皆様の不安解消と、日常生活への早期回復に備えます。

湯沢町総合計画を補完し、自立を推進するための戦略である「湯沢町自立プラン」の策定については、町民と職員で組織された策定委員会からの提案の後、検討委員会で検討され、議員協議会に報告しました。

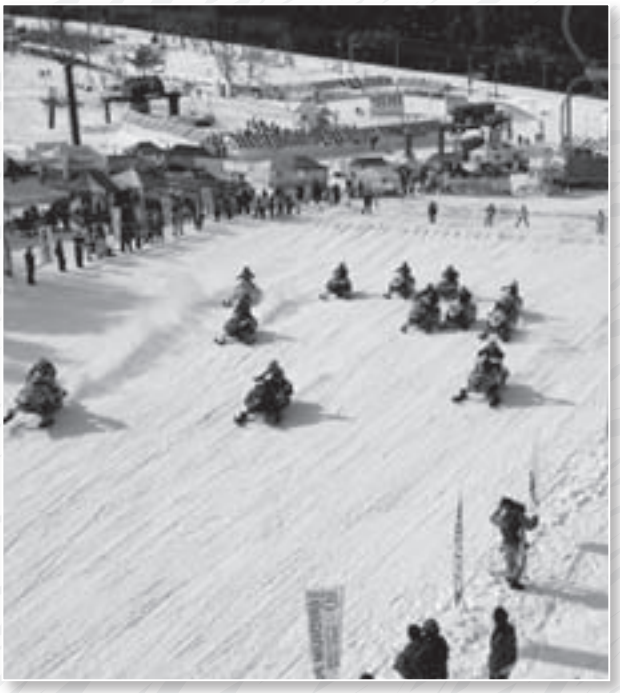
「越後湯沢全国童画展」には、多数の作品が出品され、多くの皆様から鑑賞いただきました。

国土調査事業は、現在取り組んでいる土樽地区が、平成二十二年度に完了する予定です。その後は、三俣地区に調査に入る予定であります。

地方道路交付金事業では、主水楽町線などの四路線の測量設計業務を実施しました。

三俣地域振興対策については、事業を実施可能なものと対応困難なものに分類し、事業費の配分を含めて協議を重ねています。なかでも清津川の護岸整備は、国から護岸法線の説明を受け、背後地利用計画の協議を行っています。また下水道についても、特定環境公共下水道事業として、町の事業主体で実施する前提としています。

湯沢温泉ロープウェーの経営譲渡では、契約と協定の調印が行われました。新たな経営会社への円滑な移行を目指してまいりますので、皆様のご愛顧をお願い申し上げます。



1月に中里スキー場で開催された
全日本スノーモービル選手権大会